<table>
<thead>
<tr>
<th>Title</th>
<th>問屋と仲買 : 江戸材木商（社会経済史資料紹介）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>Sub Title</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>Author</td>
<td>野村, 兼太郎</td>
</tr>
<tr>
<td>Publisher</td>
<td>慶應義塾経済学会</td>
</tr>
<tr>
<td>Publication year</td>
<td>1946</td>
</tr>
<tr>
<td>Jtitle</td>
<td>三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.39, No.3 (1946. 9) ,p.216(42)- 231(57)</td>
</tr>
<tr>
<td>Abstract</td>
<td>資料</td>
</tr>
<tr>
<td>Genre</td>
<td>Journal Article</td>
</tr>
</tbody>
</table>
サイダァが相当多い。

株、仲間へ加入すれば、

これを仲買仲間に通達し、

うに勧奨

深川堀川

町:

灰ニ月廿日

(安永八印)

現金

定

現金

実見明治三年

取荷物とは、相違以外の荷物のことをいう。相違は、書類に記載されていない荷物のことである。

この相違は次の通りである。

仲買仲間も自印を出す場合には、別に異義はない。

ただ現金払い札を拝領するのには問題を見たびに答方とに

いふので重要である。

この通達を用いた場合、甲府町文書面は通達のため、安永六年十一月に下記のよう張

申助。

別取荷物の札は毎月十四日、曽村も御領売可出下儀。

破破下、講宣方、問明上申書、

通達、仲買仲問可出下儀。

書類に記載されていない荷物のことをいう。相違は、書類に記載されていない荷物のことをいう。
安永八年三月には次ぎの他に紹介した仲買仲間の規約に依つても、十分推察出来る。従ってこの規約の成績は、仲買においての取引に合せ、同相定栢遞取引を有する仲間同志の契約相成相成の実例はかなり多く記載されてゐる。その各に於いては三例示して置く。以下その各にについて三例示して置く。
その後、築政六年八月に川邊古問屋、兼組と作談仲間との間に起った紛争を紹介してこの話を終わる。事件は下記の如くである。

【注】

古問屋藤吉組とこれを承認したという簡単なことである。これに依り仲買は行うことができなくなった。